

# 令和6年度 P T A 専門部活動 今年度反省や次年度課題について

◆全体総括 【PTA役員】丸岡康昭（会長） 【学校】中田善英（校長） 小笠原和寿（総務主任）

【総務部】PTA会報発行などによる広報活動の充実と情報提供。

部長	伊藤 邦子（2A 健介）	副部長	武田 薫（3F さくら）
担当	【PTA役員】 金谷 真弓 三浦 真由美		
	【学 校】 村木 亮司 才宮 奈都子		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回（7月、3月）の発行。</li> <li>・編集会議は年間で6回程度を予定。</li> <li>・PTA専門部の活動や活躍を取り入れた紙面作りをする。</li> </ul>		
反省課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者でLINEグループを作り、それを活用したことで、PTA会報の写真選定や各校正等を各自で行うことができたので、これまで年6回程度開催していた編集会議を4回に減らすことができた。</li> <li>・学校行事のアンケートのとり方や質問内容、記事としての必要性などは今後検討していかなければいけない。</li> </ul>		

【健全育成部】交通安全運動や校外指導に協力する。

部長	成田 智子（1A 大）	副部長	渡辺 久美子（2C 幸哉）
担当	【PTA役員】 本多 孝平		
	【学 校】 恵比原 拓 中嶋 真由美		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全街頭指導等に協力する。</li> </ul>		
反省課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は昨年度の2倍以上の27名もの参加をいただき大変感謝している。1日最大3名を学校周辺に配置し、交通安全やあいさつ運動等を兼ねた活動を実施できた。</li> <li>・一方で保護者への連絡手段が課題であった。子どもを通じてのプリントでの案内だと紛失したり、家庭まで届かないこともあったため、次年度は「すぐーる」の活用や、QRコードでの出欠確認などの方法で実施したいと考えている。</li> </ul>		

【進路対策部】子どもの進路決定について学校の進路指導部と協力。

部長	本間 慎（2F 全）	副部長	岩谷 篤（1B 薫）
担当	【PTA役員】 藤原 恭一 成田 英樹		
	【学 校】 齊藤 恭子 安岡 裕二		
活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬面接の実施をする。</li> <li>1. 日程 昨年は8/26（土）だが、生徒のことを考えると早い方がいいのではないかと。→ 第1希望：8/17（土） 第2希望：8/24（土）</li> <li>2. 内容 個人面接形式では、進行をコンパクトにしてもう1サイクルさせたい。生徒は4～5人グループにする。グループは業種に分けるのでよい。→ タイムテーブルを作成する。 ①集団面接形式 …（反省にあるように）20分 ②個人面接形式 … 15分×3回</li> <li>3. 配置 面接官のほかにタイムテーブル通り進められるよう、タイムキーパー係を配置してはどうか。</li> </ul>		
反省課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の実践を活かし、タイムキーパー係をつけた。これにより、面接時間が一定となり実施することができた。また、面接官マニュアルを準備し、それに基づいて実施したことで、質問内容に偏りがなくなり、スムーズな面接練習を行うことができた。</li> <li>・生徒も緊張感を持ち練習することができたと思う。普段と違う雰囲気のため、面接中の姿勢や声の大きさ等で指導が必要な生徒も見受けられたが、そのような本番に近い雰囲気での面接練習ができるのは大変良いPTAの活動だと思う。</li> </ul>		

【調査研修部】 PTA主体の行事を企画し、PTA会員相互と学校との交流

部長	安部 純子 (3D 綺音)	副部長	阿部 美知子 (1D 凜)
担当	【PTA役員】 加賀 健志 高橋 良児		
	【学 校】 近藤 和生 高橋 慶徳		
活動 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修旅行の計画と実施をする。(今年度は国際教養大学の予定)</li> <li>・学校祭のPTA模擬店の手伝い。</li> </ul>		
反省 課題	<p>・これまでは主に「大学・専門学校等訪問」と「企業訪問」をそれぞれ隔年で実施してきた流れだったが、次年度からは本校でも着手し始めている「コミュニティ・スクール」(学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組み作り。地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくこと)の勉強会や講演会等へ、保護者・生徒・職員などが皆で参加するという案が出て、来年度からの選択肢のひとつに入れることにした。</p>		

【母親部(輝き委員会)】 母親(輝き委員会) 交流大会への参加

部長	泉 美保子 (3A 優)	副部長	花田 真澄 (3E 愛優人)
担当	【PTA役員】 畠山 忍 鈴木 淳子		
	【学 校】 浅利 麗子 阿部 陽子		
活動 計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親交流大会への参加。</li> <li>・学校祭でのフラワーアレンジメント講習会の実施。</li> </ul>		
反省 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親(輝き)交流大会にはPTA役員1名、学校職員1名の2名が参加することができた。</li> <li>・フラワーアレンジメント講習会は、気温が高く生花の保管が難しかったためやむなく中止した。その代わりとして生活科学科がSDGsの活動の取り組みとして行っている、余り布を活用したコサージュの制作を実施した。この生徒と保護者が一緒に行う活動が大変好評だったため、来年度はこれを夏休み中に実施し、学校祭でコサージュを展示するという形にしたいということになった。</li> </ul>		